

LANGUAGE TABLES (学生用)

大阪公立大学 COIL 推進室



CONTENTS



ランゲージ・
テーブルとは
(p. 3)

2022年春
ランゲージ・
テーブル
(pp. 4-5)

日本のボランティア
学生の役割
(p. 6)

学生の交流の
流れ (p. 7)

前回のランゲージ・
テーブルの
様子と学生の声
(pp. 8-16)

応募方法
(p. 17)



ランゲージ・テーブルとは？

- 米国の大学で日本語を学ぶ学生と大阪公立大学、大阪市立大、大阪府立大の学生との文化・言語交流
 - オンライン形式で自由なテーマで会話
 - 日本語会話パートナーとして米国学生のサポート
 - 英語力向上と異文化交流の場



2022年春・ランゲージ・テーブル

- 実施期間：令和4年4月19日(火)～令和4年5月14日(土) ※週5回（火～土）* 休みは募集要項参照

①午前9：00～10：00（1時間） ②午前11：00～正午（1時間）

- 開催形式 オンライン（Zoom）形式
- 募集人数 10名程度 ※担当いただけるセッション数による *1セッション1時間

申し込み方法：オンライン：<https://forms.gle/RN4eudWEPxt1VgQN8>

- 申し込み期限

令和4年4月12日（火）午後5：00（日本時間）

- 選考結果通知：令和4年4月14日（木）予定
- オリエンテーション：日時：令和4年4月15日（金）20：00～21：00



2022年春学期・ランゲージ・テーブル 参加対象大学



対象：大阪公立大学（OMU）、大阪市立大学（OCU）、大阪府立大学（OPU）

パートナー大学：

- ニューヨーク州立バッファロー大学
- ニューヨーク市立ハンター大学
- ニューヨーク市立リーマン大学
- マンハッタン・カレッジ



日本のボランティア 学生の役割



- 学生間のコミュニケーションのサポート（英語/日本語使用）
- オンライン（Zoom）会場の設定とBreakout Roomの管理
- 学生の出欠確認、及び事務局への日誌報告
- SNSでのレポート配信のサポート

学生の交流の流れ

- **オリエンテーション**（日本のボランティア学生と日米大学の担当教員・スタッフ）
 - ガイドラインの説明
 - 顔合わせ
 - 質疑応答
 - Slackの使い方
- **ランゲージ・テーブル・セッション**
 - 学生主体；リーダー（交代制）
 - Breakout Room（少人数制）
- **Closing Session**
 - 学生との振り返り
 - 学生主導のアクティビティ・パーティー（交流会）
- **中間・期末アンケート**（日米両大学対象学生）



2021年秋のランゲージ・テーブル

- 参加大学：The State University of New York-Buffalo = University at Buffalo (UB)
大阪市立大学（OCU）
- 開催期間：2021年9月8日（水）－12月11日（土）
 - 毎週火曜日から土曜日
 - 1日2セッション（1セッション1時間）
 - 日本・米国の祝日や休日は活動なし
- 時間：
 - セッション1：午前9時－午前10時
 - セッション2：午前11時－正午
 - 各セッションの前後に打合せと振返り（10分程度）を行います。
- 参加人数：
 - ボランティア参加人数：48名（延べ人数：82名）
 - UB学生参加人数：32名（延べ人数：305名）



学生の交流の 様子（１）

オリエンテーション





学生の交流の様子（２）

セッション開始と終了時





学生の交流の様子（3）

セッション中

BREAKOUT ROOM

Video Clip:

https://drive.google.com/file/d/1n5mx_UEu2fVAWtTXwdz9UW_Vuvl5ofq3/view?usp=sharing

学生の交流の様子（４）



Closing
Sessionの
様子



Room 3 Language Tables : Share Time

SHARING TIME

面白かったエピソード・印象に残っていること

エリックさんと話しているとき、友達がたくさん集まってきて、1つの画面で8人くらいの人と同時に会話することになった。

エリックさんと突然アニソンカラオケ大会が始まった

UB学生に今学期最後に聞きたいことetc.

やらかしちゃったエピソード

機械トラブル

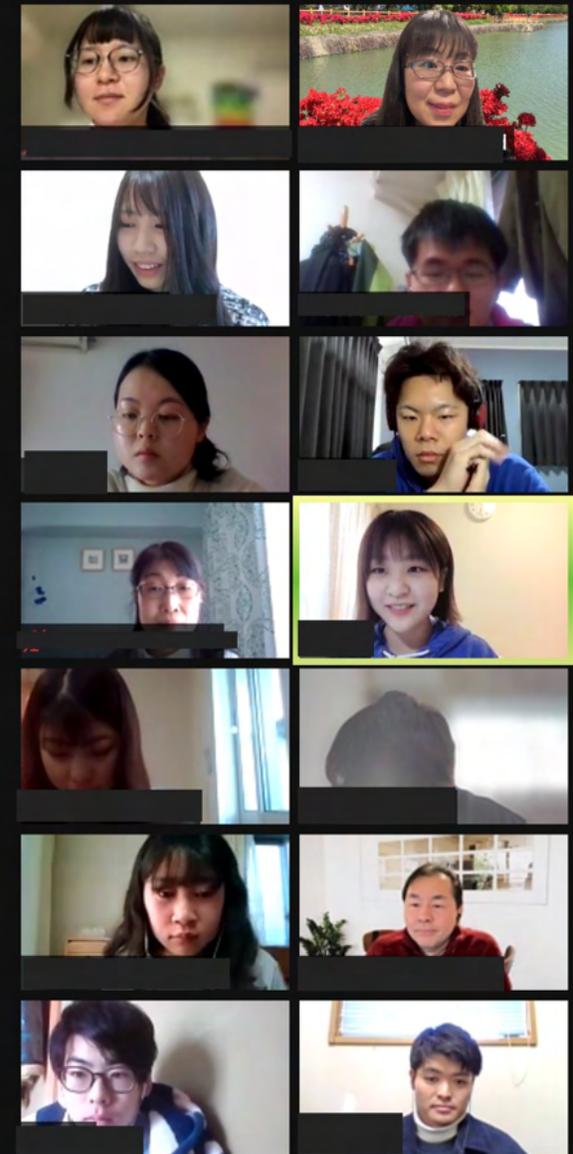
驚いたこと

車道と車道の間には自転車専用レーンがある

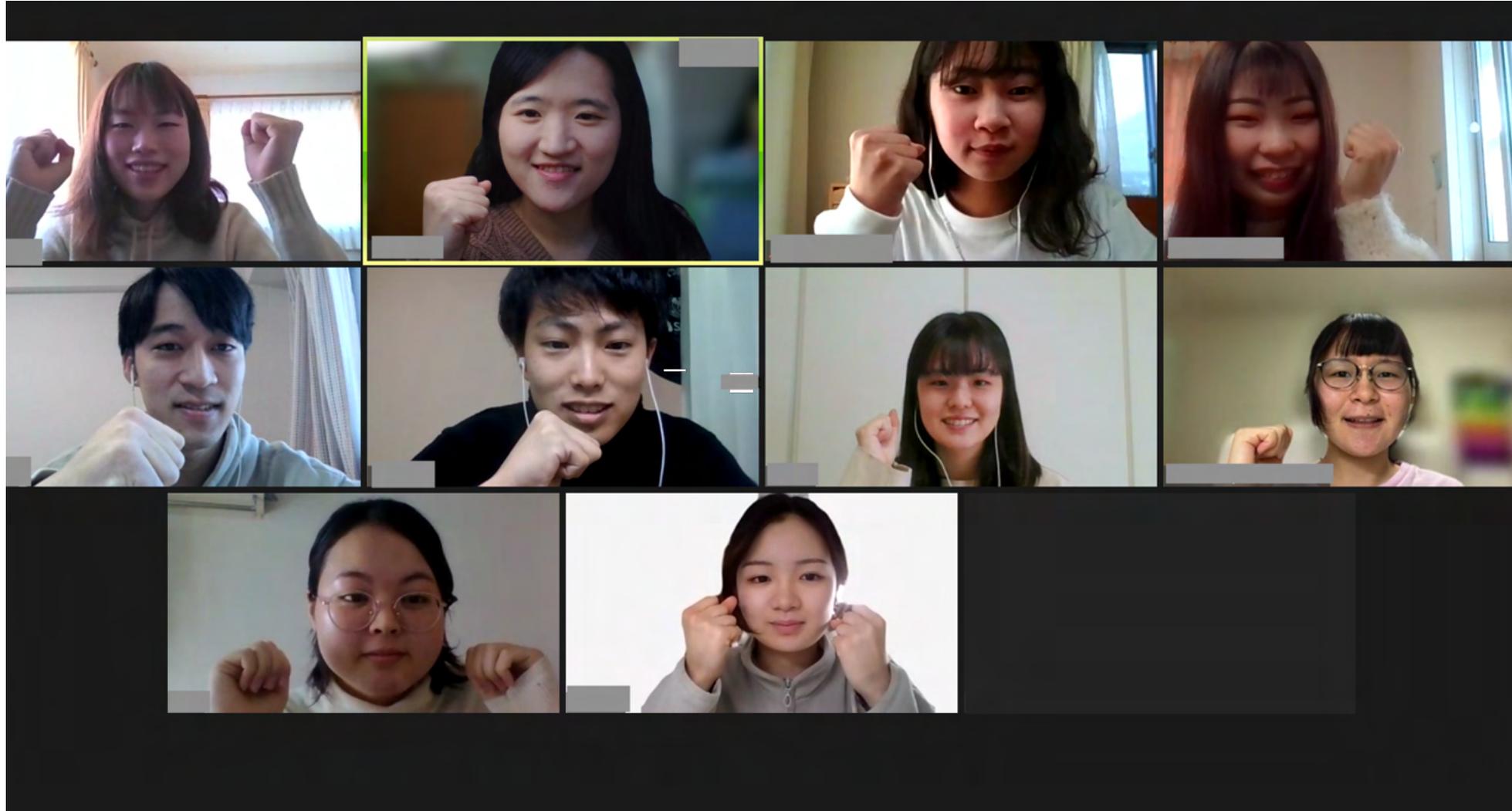
日本人の留学生さんがいたこと

学校が大きい

日本のどこに來たいか？是非日本に來てください！！

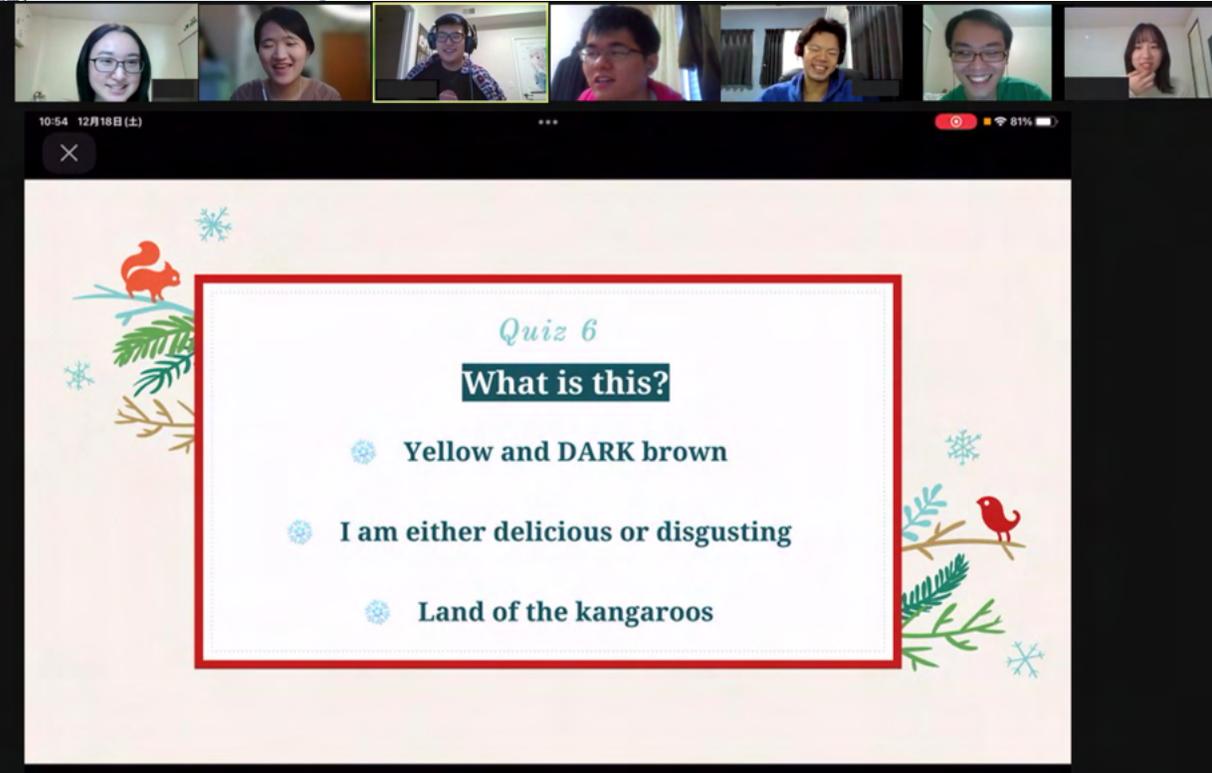
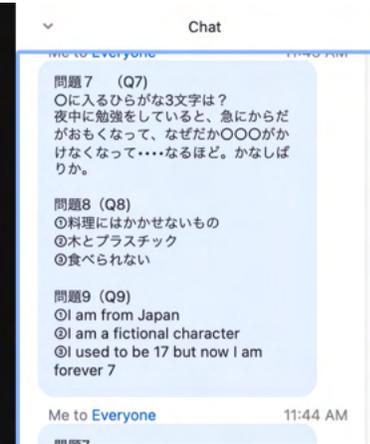


学生企画のACTIVITIES



↑アクティビティのリーダー学生

連想クイズ



B. インド India



1. B. インド India
→大正解! Perfect!

2. D. サウジアラビア Saudi Arabia
→3,060.584829 km 3

3. A. マレーシア
→3,843.064016km 2pt

4. C. マダガスカル Madagasuda
→6,182.948358 km 1pt



国歌当てゲーム

アメリカの学生の声



- Met people living on the other side of the world ; ...an amazing experience!
- Learned more about Japanese culture and gained different perspectives;
- Improved Japanese speaking proficiency
- Realized how much more to learn to be able to speak fluent Japanese
- OCU students helped students practice the dialogue check, which was great!
- Learned the importance of practicing Japanese with a partner

市大のボランティア学生の声

- 自国の文化や母語への気づき
 - 日本の魅力にたくさん気づくことが出来たし、日本が好きになった。自分ももっと日本のことを知りたいと思った。
 - 日本語の難しさを改めて感じました。
 - 海外の人から見た日本。
- 自国と他国の文化比較による学び
 - 話す中で文化の違いを知ることができておもしろいと思いました。（アメリカ、中国、海外諸々）
 - 海外の学生と日常会話をする機会はほとんどなかったので、お互いの大学の違いなどを話すことで学ぶことも多かったです。
 - 相手の国のタブーな話など、日本にいたらなかなか触れられない話題を知れたこと。
 - 意外なアメリカ文化を知れたりして、面白かったです。



市大のボランティア学生の声

STUDENTS'
VOICE



• 英語や学ぶこと全般に対する見解の変化

- 英語を話したいモチベーションがあがって、もっと話せるようになりたいと思っています！
- 実際に使われている英語。
- 英語力が乏しく消極的になりそうだったけれどパッションがあれば英語は伝わるということ。
- 案外英語は伝わるし正しく伝えようという気持ちで話さなくなるよりも、とにかく話しかけたり楽しい雰囲気づくりをしたりすることが大事だと学んだ。

• コミュニケーションの大切さの気づき

- ...人に聞くなど一歩踏み出すと意外となんとかなることがわかった。
- 様々な文化的背景を持つ学生と話すことができたことが良い経験になりました。
- お互い日本語と英語があまり得意でなくても、コミュニケーションがとれるということを体感できた点
- 積極的になった。
- 意外と日本人（自分）の感性と似通っている人も多く、価値観の相違を理由にコミュニケーションを恐れなくてもいいのだと学びました。また、会話による英語のアウトプットの重要性を学びました。

市大のボランティア学生の声



- 人との繋がり
 - 海外の学生と交流の機会が減っている中、ランゲージテーブルで様々な会話をするのが楽しかったです。また、UBの学生やボランティアに参加されているOCUの学生は意識が高いので、とても刺激を受けました。
 - 色々な人種の人と会える点（人見知りが無くなります）。
 - アメリカの学生さんと友達のように話せるようになった点。
- リーダーシップと他者への貢献
 - 次のセッションをよりよくするにはどうすればいいかを考えたり、ボランティアの人と協力したり、クロージングセッションのゲームを企画したりと様々なことを考えることが出来た点。
 - リーダーをさせていただけで、本当に良かったです！不十分な点もあったとは思いますが、そういった事や失敗も含めて、学びの多い非常に有意義な時間でした...就活もありますが、またこの楽しいランゲージテーブルに参加できればと考えています！
 - UBの学生さんの日本語のレベルアップに少しは貢献できたことが良かった。

ボランティア応募方法

指定のURLからお申し込み下さい。

詳細は、「学生ボランティア募集要項」をご覧ください。

応募多数になった場合、締め切りを早める場合があります。

お早めにご応募下さい。

ご応募お待ちしております😊

ご質問などありましたらお気軽にご連絡ください。

大阪公立大学 COIL推進室窓口 : coil-jimu@ado.osaka-cu.ac.jp

